
財 務

下記に記すガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験からまとめられたものである。ここにはまた、「12の伝統」とAA評議会（アメリカ・カナダ）とによる指針が反映されている。

隣にいるまだ苦しんでいる人にメッセージを運ぶというAAに広がる12番目のステップ活動は、AAの胸躍る経験のまさに生命力である。このような画期的な活動がなかったら、私たちは生気を失い、文字通り、衰え、死滅するだろう。

では、AAのサービス——世界的、地域的、地方——とは、私たちの成り立ちのどの部分に入るのだろうか？ なぜ、これらの活動に金がいるのだろうか？ その答えは非常に簡単である。AAのサービスはそのどれを取ってみても、12番目のステップ活動がもっと効果的でもっとうまくいくよう意図されたものである。それがグループのミーティング場であれ、入院やスポンサーシップのアレンジをするセントラル/インターグループオフィスであれ、全地球的な一体性と効果を維持するワールドサービス本部（現在はゼネラルサービスオフィス）であれ。

費用がかさまないまでも、これらのサービス機関はAAが引き続き拡大していくためには何ととっても不可欠である——ひとつのフェローシップとして生き残るためにも。これらのコストは、私たち全員が真正面から支えていかなければならない、全体の義務である。サービスを私たちが支援することは、AAがどの場所でも、その力の限りに役割を果たしていかなければならないという——そして、自立という伝統のもとで、私たちは全員が責任を引き受けていくという、私たち側の認識になってくる。

ビル・W 1969年10月号 グループバイン

GSOの責任の一つはAAの経験を、それを要請してきたグループやメンバーと分かち合うことである。実際にAAの現実のやり方は一つひとつ異なることは認識しているが、しかしこのガイドラインでも、さまざまな場所から提供された経験の分かち合いを喜んで提供したい。もし皆様のグループで下に挙げた方法以外にも、解決の方法があった場合には、どうか知らせて頂きたいと思う。それによって、またその経験を次の人に分かち合っていける。

財務に関する質問でよくG S Oが受けるものは、ミーティング場使用料や保険に関するもの、サービス活動をする人の費用について、内国税の控除と身分証明番号、常任理事会と評議会財務委員会の役割が挙げられる。

質問と回答

質問：なぜ、A AグループはA Aの本質的なサービスの支援をするのだろうか？

答え：伝統7では、こう言っている。「すべてのA Aグループは、外部からの寄付を辞退して、完全に自立すべきである」

伝統7に従い、アルコール・アノニマスは外部の献金を受け取らない。さらに伝統6により、それがどれほど価値あるものでも、外部の組織や運動に対して寄付をしない。

まだ苦しんでいる、これからもやって来るアルコールのためにA Aがいつでもそこにあり、いつまでも続いていることを、多くのグループが望んでいる。A Aグループは基本的なグループの経費を自分たちで面倒を見ることで、これを可能にしている。その経費とは、会場費・飲み物代・A Aの出版物代である。それらの支払いを済ませると、次にセントラル/インターグループオフィス（オフィスがある場合）、地域および地区のサービス委員会、さらにG S Oを支えていく。

質問：A Aのお金は、全部が一箇所に集められるのではないか？ 言い換えれば、グループがセントラル/インターグループオフィスに献金をすれば、そこからそのお金が、地域や地区やG S Oに配られていくということではないのか？

答え：そういうことではなく、それぞれのA Aの実体——グループ、地区、地域、セントラル/インターグループオフィス、G S O——は、それぞれが独自のサービスを提供しており、自律的になっている。それぞれが、お互いに分離している。

質問：私たちのグループでは、それぞれ異なるサービス実体への献金するのは喜んでしたいと思うが、一体それぞれどこに献金を送ってよいものか判らない。それぞれの献金送付先の住所は、どうやって見つけたらいいのだろうか？

答え：あなたの町にもセントラル/インターグループオフィスがある場合、電話帳に記載されている。（もしグループにインターグループ代表がいらないなら、ぜひ選出することを考えてみていただきたい）

グループの代議員は、地域や地区委員会の連絡先を知っているはずである。

各グループには毎春、G S OからA A住所録が送られる。その住所には各グループの代議員と地域委員会議長の住所氏名が掲載されている。

(注) 日本では、J S Oはまだこのシステムを取っていない。

質問：自分たちのグループの経費をまかなうと、もうほとんどお金は残らない。少額のコインを送ったら、迷惑にならないだろうか？

答え：評議会で強調されたのは、各グループからの献金の金額よりも、各グループが何がしかの献金をするという事実の方が重要だということだった。「献金によって参加するのは、霊的な義務です」とは、最近開かれたサービス集会で発言したある代議員の意見である。

質問：A Aグループがミーティングをしている会場が、例えば公共の建物で、賃貸料を受け取れないという場合、自立という伝統に従えば何ができるだろうか？

答え：グループは他の方法で献金している。例えば、何か備品を寄付したり、据え付けたりしている。

質問：G S Oが確かに私たちの献金を受け取ってくれたかは、どうやって分かるのだろうか？

答え：グループ献金には、すべて領収書が送られる。あて先が指定されている場合はそこへ、そうでない場合は代議員に送られる。

4半期ごとに、献金リストが代議員のもとへ発送されているがそこには、献金のあるなしに関わりなく、各グループの報告が掲載されている。

(注) 日本の場合、献金などの会計報告はJ S Oから毎月発送している。

(ただし、評議会からは、この四半期ごとの献金リストを、地域評議員にもおくって欲しいという要望がある。そうすれば、献金をしていないグループについて、評議員がフォローできる。)

サービス活動をする人の経費について

質問：サービス活動をする人の経費を支払うのは、グループの責任だろうか？

答え：各グループ、地区、地域もしくはサービス委員会はもちろん自律的であり、それぞれ異なったニーズがあり、やり繰りの仕方があると思う。

だからこの答えは、まったくもってグループの良心に任されることなのだが、どのメンバーであれ、お金の余裕がないためにサービスから外されるべきではないことは、多くのメンバーが同意してくれると思う。サービス活動をする人の経費がその人のポケットから出ているという人もいれば、経費が賄われているという人もいる。

2日間や3日間といった集会を開いている地域では、参加者（代議員・地域集会など）の経費は、自分たちの任された“しもべ”の経費ということで、グループに献金を依頼してまかなっているところもある。地域の係りの経費は普通、地域の財務から支払われている。

AAサービスマニュアルは代議員の経費を賄うことについては触れているが、地域委員については書いていない。

銀行口座と税金

（注）この件については、日本とシステムが違うため、削除させていただきました。詳細は英文ガイドラインをご参照ください。

保 険

質問：家主から責任保険をかけるように言われているが、G S Oから手助けしてもらえないだろうか？

答え：G S Oの責任保険は、グループまでカバーできない。AAグループは自律的であり、G S Oの子会社ではない。

どういった人が私たちの献金を、G S Oで振り分けているのだろうか？

アルコールクス・アノニマスの常任理事会が全献金の管理者となっている。G S Oの予算と財務を検討し承認するために、常任理事会予算委員会が四半期ごとに会合を開いている。AAワールドサービス常任理事会は、G S Oのプレジデントであるゼネラルマネージャー、地方常任理事2名、常任理事2名、非常任理事の理事3名で構成されている。（この常任理事会の議長は、地方常任理事と常任理事が輪番制で毎年交代している）

G S Oの予算は、財務理事の指示のもとに組み立てられている。監査部の援助を得て、G S Oの年間予算は、A Aワールドサービス常任理事会の給与予算委員会に提出する前に、ゼネラルマネージャーが検討をする。

給与予算委員会は予算案を検討し、全A Aワールドサービス常任理事会に予算勧告をする。委員会は、また給与構成とG S Oの収支方針も検討し、適切かどうか市場で競合できるかも確認していく。

A Aワールドサービス常任理事会は、常任理事財務予算委員会に対して勧告をし、最終的に、一年に1度開かれる評議会がその独自の財務委員会を通して検討する。

A Aの財務のことについては、すべてがオープンになっている。それぞれの概略は、四半期ごとに発行される『クォーターリー・リポート』に掲載されており、詳細は年に1度発行される『評議会最終報告』に掲載されている。そして経理の帳簿も、いつでもG S Oで見ることができる。

ゼネラルファンド（一般基金）とは？

ゼネラルファンドとは、A Aグループやメンバーからの献金で構成される金額のことである。常任理事会で管理されているこのファンドは、G S Oが使い、グループへのサービスに帰し得る経費をカバーする。

リザーブファンド（予備金）とは？

予備金とはA Aのいわゆる『慎重な予備金』で、基本的には別に分けてあって、緊急時や災害時に、G S Oがある一定期間使用できるようになっている。

予備金は、A Aワールドサービス社、グレープバイン社、A A常任理事会3社の合計運営経費を超えない金額ということで定義されている。運営実体の資金はすべて、運転資金に必要な分以外は、毎年予備費に移行される。

予備金の使用は、常任理事会の財務予算委員会の勧告にのっとり、常任理事会が承認する。過去においてこれが使用されたのは、工事や改築でG S Oが移転した時である。